

日本学術会議 科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会（第 24 回）  
議事要旨

日 時 2013 年 11 月 12 日（火）10:00-12:00

場 所 日本学術会議 5-A(1)会議室（5 階）

出席者 荒川委員長、松沢副委員長、長野幹事、西尾幹事、岩本委員、田中委員、永原委員、  
樋口委員

陪 席 日本学術会議事務局（盛田参事官、辻上席学術調査員、太田参事官付）

配布資料

- (1) 資料 1 第 22 回学術の大型研究計画検討分科会議事要旨（案）
- (2) 資料 2 第 23 回学術の大型研究計画検討分科会議事要旨（案）
- (3) 資料 3 科学者委員会報告予定資料：報告「第 22 期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」（平成 24 年 12 月 21 日）
- (4) 資料 4 科学者委員会報告予定資料：学術の大型研究計画検討分科会審議状況（2013 年 9 月 26 日現在）
- (5) 資料 5 科学者委員会報告予定資料：学術研究領域（コード表）
- (6) 資料 6 マスタープラン 2014 の基本構成(案)

1) 前回議事要旨（案）の確認

資料 1、資料 2 をもとに本分科会の第 22 回および第 23 回の議事要旨（案）の確認を行い、一部の軽微な修正後に了承された。

2) 科学者委員会への報告について

まず、荒川委員長より、本分科会における「第 22 期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン」の策定に関わる審議経過を来る 11 月 15 日開催の科学者委員会において報告することが求められていることの説明があった。その後、具体的な報告内容について、資料 3 から資料 5 等をもとに審議を行った。

3) 重点大型研究計画提案者への本委員会としての採否の連絡について

前回の本分科会において、重点大型研究計画に関する本分科会としての採否を決定したが、その結果を計画提案者に連絡することについて、連絡内容、連絡時期などについて審議を行った。特に、連絡書面についての確認を行った。

4) マスタープラン 2014 の基本構成案について

現在策定中のマスタープラン 2014 を最終的に日本学術会議から冊子として発出することについて、その基本的な構成に関して資料 6 をもとに審議を行った。まず、「提言」とするか「報告」とするかについての議論を行い、「提言」が望ましいという結論に至った。また、「提言」の題目と関連して、現在策定中の計画の総称に関する議論も行った。なお、「提言」作成に関する原稿の締切時期を 12 月中旬あたりに設定して今後の作業を進めることとした。

5) その他

次回の本分科会の開催日予定などについて話し合いを行った。

以上